

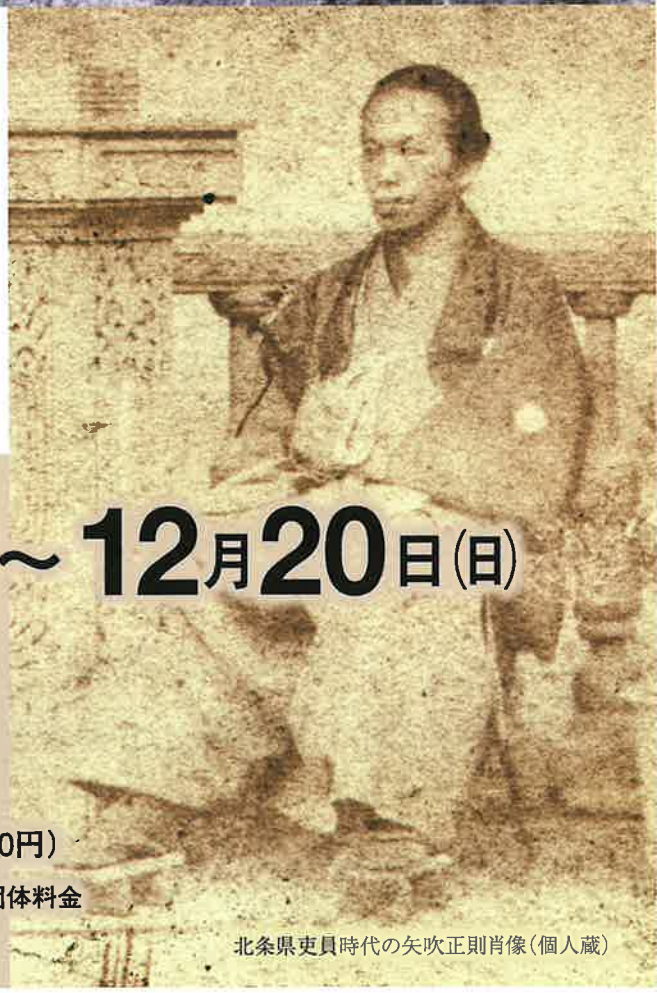
むらとまちと美作国

— 矢吹家資料に見る郷土の「すがた」 —



明治20年頃 行信村矢吹邸写真(個人蔵)

明治初期から実務者として幾多の貴重な資料を今日に遺し、明治・大正にかけて政治家・歴史家として在りし日の美作の「すがた」を今に伝えた矢吹正則・金一郎父子。彼らの足跡を三つの方向からご紹介します。



北条県吏員時代の矢吹正則肖像(個人蔵)

会 期：令和8年**10月10日(土)～12月20日(日)**

会 場：津山郷土博物館 **3階展示室**

開館時間：9:00～17:00 (入館は16:30まで)

休 館 日：毎週月曜日、祝日の翌日、その他

入 館 料：一般 300円(240円)、高校・大学生 200円(160円)

65才以上 200円(160円) ※ () 内は30名以上の団体料金



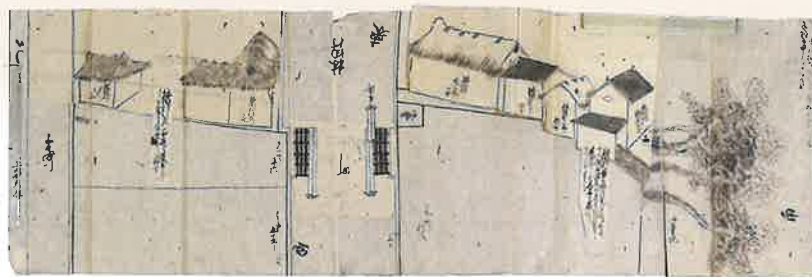
矢吹正則肖像(個人蔵)

矢吹 正則

矢吹正則は勝南郡行信(行延)村(現美咲町行信)の豪農に生まれ、津山城下安岡町の年寄役を勤めていた日笠家の養子となるも矢吹姓を名乗った。幕末には津山藩家老家永見家に出仕し、国事に奔走する。明治維新後は津山県・北条県・岡山県の吏員を務める傍ら美作地域の歴史資料の収集・保存に努め、郷土の歴史を研究する上で大きな足跡を残した。



「弓斎勤仕録」
(個人蔵)



東新町林田村境絵図(個人蔵)

矢吹 金一郎

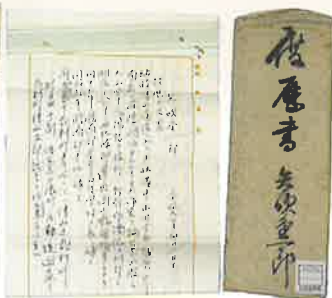
正則の長子 金一郎は諱を正己といい、県会議員や津山町長、津山銀行頭取等の要職を歴任し、その傍ら『新訂作陽誌』の刊行や『津山温知会誌』の編集・発行など郷土の歴史を知る上で欠かすことのない書籍を数多く残した。中でも『津山温知会誌』は全十五編で、旧藩時代の制度や沿革など幅広い分野の記事が掲載されており、郷土史研究の上で非常に重要な資料集といえる。



矢吹金一郎肖像(個人蔵)



矢吹金一郎履歴(個人蔵)



『津山温知会誌』出版届(個人蔵)



津山郷土博物館

Tsuyama City Museum

〒708-0022 岡山県津山市山下92番地

TEL.0868-22-4567 HP <https://www.tsu-haku.jp>

E-mail tsu-haku@vtv.ne.jp



公式HP

アクセス

- ・JR津山駅から北へ徒歩15分
- ・中国自動車道 津山・院庄ICから車で15分

ACCESS MAP

